

食物アレルギーによるアナフィラキシー発現時の子どもの反応と母親の認識

キーワード：食物アレルギーの子ども、アナフィラキシー、母親、認識

○本間昭子¹⁾、田辺生子¹⁾、塚原加寿子¹⁾、坪川トモ子¹⁾、和田由紀子¹⁾
新潟青陵大学¹⁾

I 目的

食物アレルギー（以下、FAとする）のアナフィラキシーショックは、急速に症状が進行して致死的なことがあるため、本人と家族にとって不安は大きい。アナフィラキシーを起こした子どもの母親に、発現時の状況を調査し、子どもの反応と母親の認識を分析して、FAとアナフィラキシーに関する正しい知識の啓発に役立つ知見を得ることを研究目的とした。

II 方法

1. 対象と方法：FAの親の会を通じて協力依頼し、承諾の得られた母親10名である。2013年8月～2015年8月に個別面接をした。
2. 分析：対象毎に、子どもの年齢やアナフィラキシーの発現した経緯と子どもの反応、および発現時の母親の認識と対応をアセスメントし、予防と発現時の適切な対処につながる事象を検討した。
3. 倫理的配慮：対象者に、①研究目的・方法、②自由意志による参加、③プライバシー保護、④結果公表、⑤録音許可、⑥データ処理、について説明し、文書同意を得た。新潟青陵大学倫理審査委員会の承諾済み。

III 結果

調査結果の概要は、表1であった。

No1～No5 はFA診断前に発現し、母親らは何が起こったのかわからない中で、子どもの様子に不安を感じて病院へ受診した。5名とも初回摂取であるが、母親は量を気にしないで与えていた。No4は、子どもが1口目から嫌がり、4口目で強く拒否したので中止した。

No6～No10 はFA診断後に発現した。No6の母親は、風呂と授乳をした後に受診し、医師から「ひどいと死んでいたよ」と言われた。No7は母親が緊急性を強く感じたが自家用車で受診し、到着後に医師から「危険であった」と言われた。

No8～No10の6～7歳児は、呼吸症状が強かったものの、症状を自分から訴えず、親や教師が発見した。

IV 考察

FA診断前の母親らは、FAやアナフィラキシーが念頭に無く、初回投与の危険性を意識せずに離乳食等を与えていた。予防と症状軽減のために、初回は1匙から始める事は重要である。米やうどんは大丈夫という思い込みも問題である。病院受診した乳児1009名の抗原食品は、卵(56.5%)、牛乳(25.6%)、小麦(13.1%)¹⁾あり、小麦は起こしやすい食品である。

FA診断後の母親らは、アナフィラキシー発現の認知は早いですが、呼吸状態が悪くても救急車を呼ばず、自分で搬送していた。風呂や授乳の運動負荷の不適切な対処例も有り、危険性の判断に誤りが見られた。

子どもの養育に携わる人は、初回摂取の食品によるアナフィラキシーの危険性、症状、救急処置、救急車要請の判断に関する理解と対処が求められている。

V 結論

FA診断前の5名の母親は、FAやアナフィラキシーの認識が無く、離乳食や初回摂取時に注意を払っていなかった。診断後の母親5名も含め、アナフィラキシーの危険性の認識に差があり、対処が適切にされていなかった。早急に知識の啓発が必要な点である。

引用文献

- 厚生労働科学研究班. 食物アレルギーの診療の手引き 2014. <<http://www.foodallergy.jp/manual2014.PDF>> 2015. 8. 1.

表1 アナフィラキシー発現時の子どもの反応と母親の認識

| No | 年齢 何回目か 原因食品 場所 | 食べた経緯と子どもの反応 | 母親の認識と対処 | 抗原食品 | AD発症時期 家族歴 |
|----|------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------|------------------|
| 1 | 6ヶ月 1回/1回 うどん 自宅 | 離乳食で何口かを初回摂取 激しく泣く | どうしたのかと思い、何をやっても 泣き止まないの心配で救急へ。 | 小麦、卵、牛 乳、大豆、他 | 生後間もなく 家族歴有り |
| 2 | 6ヶ月 1回/1回 粉ミルク 自宅 | 試供品を初めて飲ませる 呼吸がおかしい、泣く | まだ半年だと泣いてると苦しいの かわからず、怖くなって、救急へ。 | 牛乳、卵、魚、 甲殻類、他 | 生後間もなく 家族歴有り |
| 3 | 6ヶ月 1回/1回 ウエハース 自宅 | 離乳期用1枚を、初回摂取 屋裏1時間半後に皮膚症状 | 異常に赤く、何だろうかと不安で 近医へ。FAとは思わなかった。 | 卵、小麦、大 麦、いくら | 生後間もなく 家族歴有り |
| 4 | 7ヶ月 1回/2回 米がゆ 自宅 | 離乳食で少量を初回摂取 全身真っ赤になり、かゆがる | まさか主食の米が駄目だとは思 わなかった。いつもの小児科へ。 | 米、小麦、卵、 牛乳、大豆、他 | 生後2週 家族歴有り |
| 5 | 7ヶ月 1回/5回 ヨーグルト 自宅 | 離乳食で3口を初回摂取 咳込み むせ 食べない | 蕁麻疹が広がりおかしいと救急へ FDがあると知らないから何でと。 | 乳、卵、小麦、 米、大豆、 | 生後間もなく* 家族歴有り |
| 6 | 10ヶ月 1回/1回 卵 自宅 | 親の炒飯の卵を誤食する 初回摂取 咳 泣き止まない | 食後直ぐ風呂の後の授乳で咳が 始まり、異常と思って救急へ。 | 卵、小麦、 甲殻類、他 | 生後1ヶ月 家族歴無し |
| 7 | 1歳頃 1回/2回 うどんのゆで汁 店 | そばを食べさせたが汁混入 咳、号泣、喉が絞まるような | 慌てて救急車を店に依頼したが 呼ばず、約40km離れた救急へ。 | 小麦、乳、卵、 米、豆、他 | 生後間もなく 家族歴有り |
| 8 | 6歳 1回/1回 お菓子 集会場 | 子どもが食べれると勘違い 呼吸が苦しい脈がおかしい | 自宅に帰り、エピペン注射と吸 入。救急車呼ばす後悔。救急へ。 | 米、卵、牛乳、 たけのこ | 生後間もなく 家族歴有り |
| 9 | 6歳 5回/5回 揚げパン 学校 | 食品表示漏れで乳が混入 喉のいがいが 咳 よだれ | 授業参観で偶然居合わせ、様子 が全然違うと気づき、救急へ。 | 乳、卵、小麦、 キュウイ | 生後1ヶ月* 家族歴有り |
| 10 | 7歳 1回/1回 シチュー 学校 | 負荷試験OKで本人が挑戦 声が出ない 動けない | 学校から呼び出され、直ぐにアナ フィラキシーと判断し救急へ、 | 魚、卵、乳 | 生後2ヶ月 家族歴有り |

*=FA(食物アレルギー)診断後に発現 AD=アトピー性皮膚炎 但しNo5とNo9は乳児湿疹の診断後にAD